

【温暖化対策の推進】 4. ストップ温暖化プロジェクト

4-1 かさまの森林(もり)推進

〈ねらい〉 本市に所在する森林を対象に、市民・事業者と協働により植林や間伐等の森林整備を行うことで、森林の伐採と再生のサイクルを促進し、二酸化炭素吸収量の多い森林を形成します。また、森林整備を通して環境教育・自然体験を行い、市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 かさまの森林（もり）を元気にしよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
森林・里山保全活動への参加人数	1,045人	1,050人	1,050人	1,508人

実施内容

森林吸収源としての機能をはじめ、水源かん養機能や国土保全機能など多様な公益的機能を担う森林の役割や重要性について周知を図り、地場産材の積極的な利用や里山保全活動に積極的に参加・協力するよう呼びかけます。また、里山づくりや森づくりに努めます。

- 5月6日（土）愛宕山で、(株)カスミ主催によるカスミ共感創造の森植樹祭が行われました。この活動は、地球環境保全活動の一環で平成23年度から実施されており、本年度で7回目となりました。
なお、植樹祭には市民、関係者など約650人が参加しました。

- 緑の少年団活動（市内4団体）

団体活動を支援し、森林・林業体験キャンプ、里山体験学習及び花壇づくり等を行いました。

（稲田小学校わがくに緑の少年団244人、友部緑の少年団33人、北川根小学校緑の少年団273名、岩間第一小学校あたご緑の少年団308人）

〈評価・課題〉

計画的な間伐や平地林、里山林の整備などにより健全な森林の育成を図りました。

また、森林資源の活用促進として、緑の少年団活動等を支援し、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図りました。

今後も、健全な森林の整備や木材の利用の促進、ボランティア活動への参加を促すなど、森林環境教育を推進していきます。



4-2 環境にやさしい交通推進(スマートムーブ)

〈ねらい〉 講習会や学校の授業において、交通利用の在り方を見直したり、公共交通利用や徒歩、自転車による移動がしやすい環境を整備することで、環境負荷が小さい交通利用を促進し、市内における運輸・移動による二酸化炭素や大気汚染物質の排出量の低減を図ります。

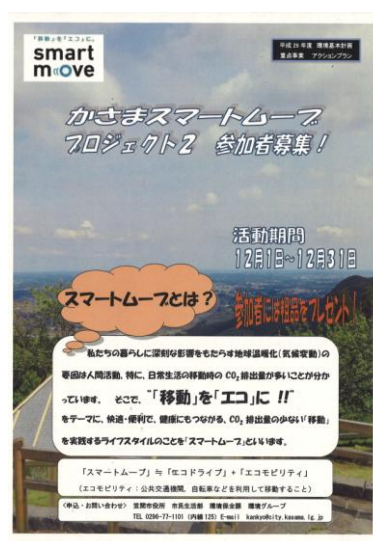
〈実施事業〉 スマートムーブを実践しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
スマートムーブ参加者数	182人	190人	200人	101人

実施内容

自動車利用において、エコドライブを心掛けるとともに、日々の移動手段を自家用車のみにも頼るのではなく、公共交通機関、自転車などをかきこく使い分けるなど環境に優しいライフスタイルを推進します。

- かさまスマートムーブプロジェクト2を、12月1日から12月31日までを活動期間として、市民・市内事業所を対象に実施しました。



参加団体など

かさま環境を考える会	笠間工芸の丘 (株)	笠間SC協同組合
笠間市役所	キャノンモールド (株)	常陽銀行友部支店
セキスイハイム工業 (株) 関東事業所	せんたく王国笠間店	大化工業 (株) 関東工場
一般市民		

〈評価・課題〉

地球温暖化防止対策に向けて、公共交通機関や自転車利用等の普及・推進を図るため、かさまスマートムーブプロジェクト2を実施しました。残念ながら参加者数が伸びず、前年度(154人)を下回る結果となりました。

今後は、環境に優しいライフスタイルの普及啓発を図ってまいります。

※スマートムーブとは (エコドライブ+エコモビリティ)

【エコモビリティ：公共交通機関、自転車などを利用して移動すること】

通勤、通学、買い物、旅行などにおける日々の「移動」を「エコ」にすることで二酸化炭素の削減を図る取組。

4-3 市民の主体的な温暖化対策促進

〈ねらい〉 省エネの取組や電力消費量の“見える化”など、家庭において日常生活のなかで実践できる地球温暖化対策について紹介するとともに、参加型の取組を実践したり、インセンティブ（意欲の刺激）を付加したりすることにより、活動の促進を図ります。

〈実施事業〉 緑のカーテンを育ててみよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
種の配布数	2,000袋	2,000袋	2,000袋	2,000袋

実施内容

家庭や事業所などにおいて、植物を利用した「緑のカーテン」を設置し、冷房負荷を抑制することを推進します。また、種の無料配布を行うとともに、緑のカーテンコンテストを開催します。

(緑のカーテンを設置した市施設)

- 市庁舎等公共施設（8箇所）
- 市内小・中学校・保育所・認定こども園（15箇所）

実施施設：稲田小、宍戸小、友部小、北川根小、友部第二小、大原小、岩間第一小、岩間第三小、みなみ学園（後期課程）、稲田中、岩間中、くるす保育所、ともべ保育所、かさまこども園、いなだこども園

植栽植物：アサガオ、ゴーヤ、フウセンカズラ、キュウリ、ヘチマなど



- 緑のカーテンタウン事業では、緑のカーテンの普及と地球温暖化防止対策への意識啓発を図ることを目的として、ゴーヤの種を約2,000世帯に配布しました。
- 緑のカーテンコンテストを開催し、1市民・4事業所より応募がありました。応募件数が合計5件であったことから応募者全員に記念品を贈呈しました。

〈評価・課題〉

公共施設への設置や市民へゴーヤの種を配布するなど、緑のカーテンの普及による地球温暖化防止対策への意識啓発を図りました。

今後も、公共施設における設置を推進していくとともに、家庭等へ普及啓発し、夏の省エネによる環境負荷の低減を図っていきます。

【環境教育・学習・活動の促進】

5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト

5-1 主体的な環境教育促進

〈ねらい〉 子ども達が、自ら環境保全に関する課題を発見し、対策を検討し主体的に取り組む主体的な環境教育の実施を通じて、身近な環境に関心を持ち問題意識を持つとともに主体性を養う。

〈実施事業〉 涸沼川・巴川を探検しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
参加者数	27人	35人	40人	87人

実施内容

クリーンアップひぬまネットワークや霞ヶ浦問題協議会で開催する各探検隊に参加して河川の環境問題について勉強します。

① 涸沼川探検隊（担当課：環境保全課）

8月3日（木）市内小学生41人参加
市の代表的な河川である涸沼川をもっと身近に感じ、水質浄化意識の高揚を図ることを目的に「涸沼川探検隊」を実施しました。環境省自然公園指導員 矢野先生の指導のもと水生生物の調査や簡易水質検査（パックテスト）などを行いました。



② 巴川探検隊（担当課：岩間支所地域課）

8月9日（水）市内小学生17人参加，17日（木）市内小学生29人参加



愛宕山から北浦（霞ヶ浦）に流れ込む巴川の水辺の環境学習を目的として「巴川探検隊」を実施しました。この事業は、巴川流域の笠間市ほか3市町で構成され、毎年約100人が交流を深めています。茨城県霞ヶ浦環境科学センターで水質検査を行い水が汚れる原因を学習したり、遊覧船に乗って、霞ヶ浦の水を採取し臭いや色、プランクトン等を観察しました。

<評価・課題>

涸沼川・巴川探検隊の活動を通して、河川の水質や動植物について学び水質浄化意識の高揚を図ることができました。

今後も、こども達が主体的に参加できるような、様々な体験や学習機会の拡充を図ります。

5-2 市民環境学習促進

〈ねらい〉 子どもから大人までを対象に、身近な環境から地球規模の環境問題まで幅広く環境について、学び体験する機会を提供するとともに、環境に対して関心をもち、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 環境寺子屋に行こう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
開催回数	—	4回	6回	3回

実施内容

地域の環境資源を活用し、講師による市民参加型の「環境寺子屋」を開催します。

① 「地球温暖化講座・工作教室(万華鏡、雨量計づくり)」

8月23日(水) 参加者13名 会場：笠間市地域交流センターともべ「トモア」
講師：茨城県地球温暖化防止活動推進員 岸 倫男 氏ほか

地球温暖化について、小学3年生～6年生を対象にクイズ形式の講座及び万華鏡、雨量計づくりを実施しました。



② 「第1回笠間市子ども理科自由研究プレゼン大会」

11月11日(土) 参加者：プレゼン参加者17名、司会(児童)6名、来場者96名
会場：笠間市地域交流センターともべ「トモア」

市民団体(かさま環境を考える会、ごみを考える会)が中心となり、小学生が夏休みの理科自由研究の成果を発表するプレゼン大会を開催しました。12作品17名の児童が発表し、司会も小学生が行いました。子ども達が主役となり楽しく開催することができました。



③ 「ジオパークについて勉強しよう！」

3月29日（木）参加者27名 会場：笠間市地域交流センターいわま「あたご」
講師：筑波山地域ジオパーク推進協議会 会員 堤 徳郎 氏

筑波山地域ジオパークについての講演や体験コーナーなど，大地の魅力を知り保護保全の大切さなどを学びました。



<評価・課題>

環境寺子屋を3回開催し，子どもから大人までを対象に，環境について学ぶ機会や発表する機会を提供することができました。

今後も，市民を対象にした環境寺子屋を企画し，主体的に環境保全課活動に取り組む意識の醸成を図ります。

5-3 市民環境活動促進

〈ねらい〉 情報提供や活動内容・成果披露の場の提供、実施体制の強化など市民・事業者が行う環境保全活動に対して支援を行うことで、各主体が環境保全活動を行う環境を整備し、その取組促進を図ります。

〈実施事業〉 環境イベントに参加しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成29年度
環境イベント参加団体数	10団体	12団体	14団体	6団体

実施内容

日頃の環境活動や環境学習成果を環境イベントに参加して発表する。

- 「かさま環境フェア2017」は、当初予定していた10月14日（土）（12団体参加予定）が、悪天候により中止になったため、12月9日（土）に笠間市地域交流センターいわま「あたご」のオープニングイベントに併せ開催しました。

来場者は312名。

● イベント内容

- 1) 環境美化マナーに関するポスター入賞者表彰
- 2) 団体による環境に関する体験・展示



● 参加団体

ごみを考える会	かさま環境を考える会	笠間市消費者友の会
ヤマブキを育てる会	筑波山地域ジオパーク推進協議会	クリーンアップひぬまネットワーク

〈評価・課題〉

かさま環境フェア実行委員会を組織し、市民団体・事業所と協働で「かさま環境フェア2017」を開催しました。

当初は、笠間市総合公園管理棟前広場において予定していましたが、悪天候により中止になったため、急遽、規模を縮小しての開催となりました。今後、雨天の対応等を合わせて検討する必要があります。